

琉球大学千原キャンパス体育施設の活用に関する サウンディング型市場調査の結果について

令和6年11月1日
国立大学法人琉球大学

1 趣旨・目的

琉球大学では、老朽化により使用率が低下している千原キャンパス体育施設について、本学の教育研究及び課外活動での使用に加え、本学学生及び教職員が使用しない時間帯に、地域住民や一般利用者に貸し出して、有効活用することを検討しています。

体育施設の活用に当たり、民間資金による施設の整備・改修や、民間事業者による施設管理など、公民連携の可能性を検討するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2 サウンディングの概要

(1) 対象施設の概要

対象施設	規模	所在地
陸上競技場	約 13,850 m ²	中城村南上原
サッカー・ラグビー場	約 11,130 m ²	中城村南上原
テニスコート	約 9,040 m ²	西原町千原

(2) サウンディング実施期間

受付期間 : 令和6年8月23日(金)～9月13日(金)

対話期間 : 令和6年10月1日(火)、2日(水)

(3) 提案者数

2者(スポーツ事業・総合不動産業(共同企業体)1者、スポーツ事業1者)

3 サウンディング結果の要点

(1) 学外からの体育施設利用ニーズ

- ・一般利用は平日夜間のニーズが多く、サークル等の使用時間帯と重なっているとの意見があった。
- ・貸出時間帯を学外ニーズに合わせて運用できれば、利用が増えるとの意見があった。
- ・老朽化した施設を、照明設備付きの人工芝グラウンド等に整備することで、一定のニーズが見込めるとの意見があった。
- ・路線バスの乗り入れ等、利用者にとって交通アクセスが良いとの意見があった。

(2) 民間資金による体育施設の再整備の可能性

- ・施設整備費を民間資金だけで賄うことは難しいとの意見があった。
- ・現状と同じ用途(陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート)での再整備では難しいとの意見があった。

- ・自治体との連携により、補助金等を活用して整備する提案があった。

(3) 体育施設の管理・運営業務の民間委託

- ・対象の3施設だけでなく、体育施設全体の管理を委託するほうが効率的であるとの意見があった。
- ・現状の施設では運用に制限が出るため、維持管理が難しくなるとの意見があった。

(4) 体育施設活用のアイデア等について

- ・体育施設と併せて、周辺の余剰地や既存施設の活用について提案があった。
- ・本学の研究リソースと体育施設を活用した地域住民へのコンテンツ等の提供について提案があった。

(5) 学外利用促進・利用料収入増のアイデア等

- ・照明設備やシャワー室等の設置により利用料金を見直し、収入増に繋げる提案があった。
- ・利用率が低い平日昼間の学外利用について提案があった。
- ・カフェ等の併設により、体育施設以外の利用目的を創出する提案があった。

(6) 事業化推進又は参画意欲を高める等、アイデア等

- ・体育施設に隣接する福利厚生施設用地と連動した整備について提案があった。
- ・他の体育施設を含めたエリア全体の再整備や、体育施設以外の施設を併設する複合型施設としての再整備について提案があった。
- ・民間事業者だけではの事業ではなく、大学との共同プロジェクトや、自治体を含む産学官連携プロジェクトとしての事業化の提案があった。

(7) 事業化推進の阻害条件・課題等

- ・対象施設の状態が良くないため、通常利用には改修等が必要との意見があった。

(8) 事業化推進に当たっての要望等

- ・事業の収益性だけでなく、社会性や地域貢献性等も評価観点や参加条件としてほしいとの要望があった。
- ・補助金等の活用に合わせて大学の協力が必要との要望があった。
- ・体育施設周辺敷地を活用した関連施設の設置について提案・要望があった。

(9) 事業進出の意向

- ・「事業進出の意向あり」が2者であった。

4. 今後について

今回のサウンディング調査では、参加いただいた民間事業者様から、対象施設に対する利用ニーズの状況や利用率向上のアイデア、民間資金による施設の整備・管理運営の可能性、大学に期待・要望する事項等について、貴重なご提案、ご意見等をお聞きすることができました。

本調査結果を踏まえ、公民連携による体育施設の有効活用について、更なる検討を進めてまいります。